

相生山緑地市道工事 撤回求め要望書提出

市長に6市民団体

広沢一郎市長が2010年から中断している相生山緑地（天白区）を通る市道「弥富相生山線」の工事再開方針を示したことに對して、反対する六つの市民団体が5日、市役所を訪れ、広沢市長に撤回を求める要望書を提出した。広沢市長は環境と利便性の双方を考慮した工事の再開方針だと説明し、理解を求めた。

広沢市長が11月21日の市議会本会議で再開方針を表明した後、環境保全を訴えて反対する団体と面会するのは初めて。代表者らは「工事を推進する側の意見



は十分に聞いているが、道路がいらなという住民の意向もきちんと確かめてほ

広沢市長宛に工事再開の方針撤回を求める市民団体の代表者ら＝市役所で

しい」と求めた。広沢市長は「ホテルの育成に心をくだき、自然を守りたいという方のご意見を入れ込んだ再開案だ」と強調した。

工事の中断は10年に河村たかし前市長が環境保全のために決断。団体側は後継者の広沢市長が方針転換した理由の説明を求めた。広沢市長は時間をかけてさまざまな検討を経たと答え、「双方の地元の方にご満足いただける案が出てきたため転換した」と述べた。市として反対派を含めた地元住民への説明を続ける方針も示した。